

医家随想



地球温暖化と大地震

青山 六 弥

二、三年、地球では異常気象によると思われる異変が目立っている。ハリケーンに伴う豪州の大洪水や、昨年夏の日本では熊谷市他各地で40℃を超える記録破りの猛暑に襲われた。言うまでもなく地球温暖化は、化石燃料の消費で生ずるCO₂などの温室効果により全世界の平均気温が長期的に上がってゆく現象で、乱立する工場群の煤煙や自動車排気ガスが元凶。日本はCO₂削減に真剣に立ち向かい25%削減と具体策を提示して、各国の協力を呼びかけたが、残念ながら米中

の二大国はハイブリッドカー、電気自動車などの生産を手がけたものの総じて経済産業の発展とは相容れぬと考えているようだ。

『理科系雑学（地球物理学者、竹内均監修）』によれば、このまま気温が上昇し続ければ地球上にある多くの氷が融け、海水位は上昇し、多くの小島は水没、全部（後述）融ければ、何と海水位は55 m上昇する計算になるとある。百科事典などで調べて見たら次の事が判明した。

この母なる地球は「水の惑星」と呼ばれるように、表面積の71%が海水で、3億6200万km²、深さは平均3795 m（最深10960 m）、全量137億km³とある。「水」は地球陸地の約10%を覆つ

ており、総量2360万km³、この数字は地球全海水量の1・7%に相当する。全水の80%が南極大陸に、20%は北極地の島々、高峰の山頂、グリーンランドなどである。

話半分と言うから55/2 mではどうなるかと考え、これを東京に当て嵌めると次の様になる。まず東京23区は完全に水没する。最も高い港区の愛宕山は、26・24 mで明治初年、内務省地理局がここで高低測量を行ったもので、麓が6・14 m、夫々日本の測量基準点が設けられたことは特筆に値する。高所故に日本最初のラジオ放送局が設けられ、馬術の名人曲垣平九郎が急な石段（男坂）を駆け上り、梅花の枝を手折って下り、將軍家光らの称賛を得たと言う講談が有名。愛宕神社は京都に総本山があつて、火の神を祀つており、戦火による犠牲者を弔うなど神仏混交で信者が多い。今では「防災」の神社と言えるかと思う。水没の話はフィクションではないが、

現実にはどうか。急激な外気温の上昇では、脱水による生命の危険が多く、その可能性は大であるのに比べると、水没はゆつくりと起こるし、避難の時間は少なくないのが何よりも救いである。それでも尚、高い外気温が生命を脅かす事には変わりないから、温暖化防止に力を尽くす事は人民の義務と言わねばならぬ。

地震の恐ろしさは予告なしに突然起こる事で、津波もまた予測以上に波が高くなったりするので、一瞬も油断がならない。

この度の「東日本大震災」の発生機序についての京都大、梅田康弘名誉教授の談話は分かり易かったので、大要をここに記すと次のようである。

「震源地（宮城県牡鹿半島の東南約130 km）の場所を見ると、三陸沖南部海溝寄りで起きた境界型の地震で、M8・8（のち9・0に訂正）という数字と震源の位置から、長さ600 km超、幅約15

0 kmの海底から海水が持ち上げられ、陸に押し寄せた。広範囲で大規模な津波が襲ったのは、このためであろう」

TVで見ると人も車も建物もあつと言う間に浚われ流される凄まじさ。陸前高田市では、海岸線から奥行き約400mの幅で、砂浜や松林の防潮林が丸ごとさらわれた絶大な威力には驚いた。気仙沼市の大火災も海岸沿いにあった燃料タンクが壊れ、油が浮遊、津波で広がり、それに火がついたためと言われている。最も心配な事は福島原発の放射線漏れとそれに伴う電力不足で、市民生活が大きく阻害されている事だ。

福島第一原発は今世界中の注目を浴びているが、最も懸念されるのが1〜4号機の放射線漏れだ。3月25日、第3号機のタービン建屋地下でケーブル敷設作業に当たった3人のうち2人が短靴で足が溜まり水（放射線量は限度1シーベルト以下svと記す）の2〜3倍に浸かったまま3人も警報が鳴っても更に50

分以上働き続けた。前日同所での計量で心配ない旨知らされていた事、保安管理員が居なかつた事も原因となつた。

筆者はX線による透視診断を体験したが、放射線計量計を胸に、その上から鉛板入りの重い防護服をまとい毎回約15分程X線を浴びた（胸部X線写真撮影は50マクロsv）が、全く問題はなかつたのに比べ、防護が弱いのではと感じつつ見ていた。それにしても、この危険な作業に当たる方達の休息所、食事が粗末なよう改善が望まれる。

28日には2号機タービン建屋地下に溜まった水から毎時10000sv以上の放射線量が計測され、多くの専門家が言われるように、原子炉内の燃料が崩壊し、ヨウ素、セシウム、コバルトなど大量の放射性物質が放出した可能性が高いとの事だから深刻な事態だ。冷水を炉に注入せねばならないが、復水器、トレント（坑）に汚染された水が溢れてしまうジレンマにある。

29日には419人の作業員が動員され、仮設ポンプを使用するなどして玉突き様の排水が行われた様だが、結果はあまりよくない様だ。空のタンカーに汚染された水を移したり、建屋を特殊な大幅の幕で被う事など、八方手段を講じているが先は読めない。30日、東電の会長は1〜4号機の廃止を宣告したが、収束の道は遠いとも言われた。

今は何よりも放射線障害を最小限に留める事が課題だ。政府は原発より30kmまで避難勧告をしているが、3月15日の朝、4号機の爆発により放射線物質が北西の風で飯館村(40km)上空に運ばれ雨降りもあり、大気放射線(44・7μsv)が高濃度を記録した事から風向きも重要と判明した(30日1/6に下がった)。

原発のある双葉町では町役場こと多くの町民が埼玉アリーナに避難し、今は高校々舎(廃校)に移った。いつになつたら帰郷出来るか分からないので置き毒

だ。31日の夕刊には放射能封じは10年単位の長期戦の様相とある。原子炉の完全停止と放射能物質を外部に漏らさない事が課題だとは分かるが、それほど長い年月を要するとは!!

この大地震による災害が大きく、幅広く激しいのは驚くばかりだが、筆者は原発事故が最も厳しい問題を抱えていることに注目し、感想を記したが、際限がないので筆を擱く。

我が家は太陽熱発電で、1日当たり最高24kwほど東電に売電している。皮肉にも3月11日は地震発生と同時に停電し23時まで暗くて不安な夜を過ごした。不運にも東京10万戸の1戸だった。

(データは執筆時の4月4日現在)

表紙の言葉

江川 政昭
(広島市東区)

「春彼岸」

診療の傍ら、絵を描き始めて25年を過ぎます。この辺で一区切りというところで昨年3月、彼岸の日を皆さんで一週間、広島市のあるギヤラリーで初めての個展を開きました。この絵はその案内葉書に載せた絵です。

ある庭園の何でもないような、青葉、若葉の芽吹く早春の景色を描いたこの風景を「春彼岸」と名付けたのは、私のまったくの想像、思いです。生老病死をくり返す迷いのこの世界に対して、悟り、理想の世界を彼岸という。歳を重ねるにつれ、この彼岸を想うようになりました。

(第58回医家美術展並びに第28回日本医学会総会、ソシアルイベント)にも陳列)

古池や……

豊 泉 清

◆「古池や蛙飛び込む水の音」という松尾芭蕉の名句が英訳できるだろうか。池、蛙、水、音、古い、飛び込むなど、中学生でも理解できそうな初歩的な基礎単語を並べれば簡単に英訳できそうである。

実はこの俳句は絶対に英訳できないという話を聞いたことがある。中学で初めて英語を習った時に、名詞の単数には a を付けよ、複数には s を付けよと徹底的に仕込まれた。英文法の基礎の基礎である。ところが古池や……に登場する蛙は何匹と明記してない。つまり単数か複数か判断できない描写だから正確な翻訳は不可能である。英語を母国語として話す人が日本語を習うとこんな屁理屈をこねるそうである。日本人は、池に飛び込んだ蛙は何匹かなどと詮索もせず文学史上に残る名句が、ごく自然に鑑賞できる。こ

れが日本語を母国語とする人と、英語を母国語とする人の、言語感覚や感性の違いであるという講義を聞いたことがある。野球で4つのボールをフォアボールと言い、タバコの銘柄はセブンスターと呼び、複数でもボールやスターと単数扱いにしている。日本語には名詞の単複の概念がないから、数の表現に関しては鈍感であり無頓着である。英語の授業で s を付けよと厳しく指導されても、教室を一步出た瞬間にけろりと忘れ、複数形を単数形扱いにしても違和感を覚えない。

◆小首をかしげる、小手をかざす、小耳にはさむ、小脇を抱える、小股が切れ上がるなど、人体部位に「小」を冠した慣用表現がいくつもあつた。字義通りに解釈すれば、小さい首や小さい手だが、スモール・ネック（小首）やスモール・ハンド（小手）と英訳しても全く意味をなさない。日本語の慣用表現や成句がすんなり英語に直訳できない理由は何だろうか。

「小首をかしげる」は首をちよつと傾け

る。「小手をかざす」は手を額に軽く当てて光を遮ったり、遠くを眺めたりする。

「小耳に挟む」は噂話などが何となく耳に入る。つまり小首や小手や小耳の「小」は「ちよつと」とか「軽く」という意味で、字面の上では首や手や耳を修飾する形容詞のように見えるが、文法的には「かしげる」や「かざす」や「挟む」という動詞を修飾する副詞として機能している。したがって日本語の「小」の用法を吟味せず、英文法の知識だけで「小」はスモールだと速断すると全く通じない奇妙な表現になってしまう。人体部位以外でも、例えば「小癩な言いぐさ」は相手の言動が何となく腹立たしく感じられる、つまり癩に障る程度が軽いことを「小」で表している。

英語は例えば slight headache（軽い頭痛）の slight は形容詞だが、slightly という語尾が変化すれば「軽く」という副詞用法になる。同じ意味の単語でも、文の中で演じる役割が語尾で明瞭に識別できる

から和訳する際に戸惑わない。これが日本語の小首や小手という表現と異なる点である。

◆腹が太い、腹が黒い、腹が立つ、腹を割る、腹を読む、腹を切る、腹を据える、腹を探る、腹を抱えるなど、腹の成句や慣用表現が無数にある。英語の腹の項目には abdomen の一語しか載っていない。abdomen と thick (太い) と black (黒い) を機械的に組み合わせても、腹圍が何センチメートルとか、腹部の皮膚の色と解釈するだけで、日本語の「太っ腹」や「腹黒い」の比喩的意味は全く表現できない。小首や小耳と同様に、腹の慣用句も機械的な直訳では全く通じない。

「腹が太い」は度量が広い、「腹が黒い」は陰険な、「腹を探る」は相手の真意を推測する、「腹を割る」は率直な気持ちの表現など、全て感情や意思や情緒などの精神活動の比喩的表現である。本来ならば大脳が司る機能である。これらの慣用表現から、腹は単に消化器系の臓器が収ま

っている人体部位とは考えられない。古代日本人が、精神活動の最高中枢の座は腹の中にあると見なしていたと解釈できる表現である。したがって例えば「腹が太い」は心が広い、「腹を割る」は率直に語り合うというように、比喩的意味を表す英訳が必要である。英語には abdomen を用いた比喩的な慣用表現は存在し内容である。

◆日本人は贈り物という意味でプレゼントとギフトという英語を、どう違いかと考へもせず何となく口にしてる。改めてどう違いかと質問されても明確に説明できない。単語が異なれば、基本的意義や用いる状況も異なるはずと考へるのが自然である。

プレゼントは英文法の動詞の現在形という意味でも使われ、基本概念は「現実」に目の前に存在するもの」である。つまり花束やチョコレートなど、私が持つてきて、相手の目の前に差し出したものが、私からのプレゼントである。

ギフトの基本概念は「神から賜ったもの」である。英語では音楽や絵画などの芸術的な才能もギフトと表現する。つまり素質や才能も神からの贈り物と見なしている。したがって両語を強いて使い分けるとすれば、ギフトはプレゼントより高額なものと考えられる。結婚記念日に思い切り奮発して愛妻に贈る高価な装身具ならば、ギフトと呼ぶのが相応しいと思われる。

古池の数や、小首や小耳の「小」の副詞的用法や、腹の慣用句の比喩的意味や、日頃お馴染みの外国語の語源を例として挙げながら、大学受験を旨指して養暗記に努めた文法事項や、辞書の訳語の丸暗記が無用の長物であることを最近になって再認識した。外国語を正しく身に付けるには、何よりも先ず母国語の文法構造や、慣用句の成立の歴史的背景を学んだり、外国語の語源に遡って基本的な概念を把握したりする必要があると感じている。

3度目のサイパン

戦跡めぐり ②

美濃部 欣平

タナバク―サイパン最後の玉砕地

私共が、どうしてもその場所に立つて見たいと念願していたタナバクの海岸へ2010年11月16日に、前回の戦跡めぐりのガイド津田氏（グアム島出身、アメリカ国籍所持）に再び案内していただいた。第2次世界大戦中（太平洋戦争）、1944年6月15日サイパン南部に上陸した米軍の圧倒的な戦力に島北部まで追い詰められた日本軍は、7月6日、南雲忠一海軍中将、斎藤義次陸軍中将などの司令部は、全員自決して果てた。

南雲中将は「今や、止まるも死、進むも死。勇躍全力を尽くし、従容として悠久の大義に、生きる悦びとすべし」と遺言を残した。残った兵たちは「一人克く十人を倒し、以って全員玉砕せんとす」生

きて慮囚の辱めを受けず」と言う訓令を受けて、1944年7月7日約3000名の日本兵が、死を覚悟のバンザイ突撃をして果てた。その地が、タナバクだったのだ。

朝8時40分、今はサイパンのリゾート地として、瀟洒なホテル群が並ぶガラパソンの中心地を出発した。車はマツピロードを北へ向かって走る。海岸にそって点在していたホテルもなくなり、左右は荒



最後の玉砕地・タナバクの海岸 日本兵の無残な死体が累々と横たわっていたという

れ果てたブッシュの続く風景になった。

やがて、車は海側の小さな集落のある小道をカタカタ揺れながら入った。すると、真っ白な砂浜と目の覚めるようなトルコブルーに光り輝く海があった。周囲には丈の高い椰子の木が、木陰を作っていて、いかにも南方の島らしい。この辺りが戦争の古い写真などで何回も見た凄惨な玉砕地なのかと、息を吞んで立ち尽くした。


サイパン守備隊の玉砕

1944年7月7日（七夕祭りの日）生き残りの兵隊約3000名（この中には日本人移民の一般男子も含まれていた）は、マツピ岬から5km南のマタンサ（現在サンロケ）に終結した。そして、当時の日本人社会の中心地だったガラパンを奪回せんとアメリカ軍陣地へ向けて突撃していった。加賀学氏は「小銃を持つものは少なく、竹竿や鉄棒、帯剣などを木の枝の先に付けて槍にしたものなどが武器で、素手の者は腰に手榴弾を吊つ

ているのみ」と当時の様子を書いておられる。平櫛孝氏(第43師団参謀中佐。万歳突撃で意識不明の所を米軍に救出された)の手記。「午前3時30分を期し、ワ


撃ち込んできた」。結局、最後の突撃隊は、ガラパン迄行き着けず、タナバク港あたりで、玉砕してしまった。

タナバクの浜には、撃ち殺された日本



④タナバクの浜の彼方にバンザイクリフがのぞめる
⑤十字架と親画像が組み合わさった日米合同の慰霊碑

兵の死体が累々と続き、米軍従軍記者、ロバートシャーロッド氏の手記では、「所によつては、4段に重なり合っていた。4人のうち、



一人は、手榴弾による自決と思われる証拠に、右手と胸部が吹き飛ばされて、死体からなくなっていた。更に、海岸の反対側の土手の下には少なくとも40名が死んでおり、付近の小さな民家の床下には、12名ぐら

輝く海原の北へ眼を向けると、追い詰められて多くの民間人が投身自決したバンザイクリフ、マツビ岬がのぞまれる。南へ眼を向けると、日本兵がたどり着きかかったカラパンの町も、彼方に見える事が出来た。私たちは、平和になった日本からきて、ただ、この66年前の玉砕地に立つ事しか出来ない。

戦没兵士達の声なき声を伝える術さえない。私と妻は、指からさらさらこぼれる真つ白な砂とちいさな骨にも思える貝殻をすくい上げ、鎮魂の気持ちを含めて瓶に詰め日本へ持ち帰ってきた。

(次回はタポーチヨ山の攻防戦と「敵ながらあつぱれ大場栄隊」に続く)

ツと喚声を上げて米軍に向かって突進した。始めから期待しない突撃だ」と全員玉砕覚悟であった事を書かれている。

第43師団サイパン玉砕戦「丸」別冊中部太平洋戦記、「アメリカ軍側から赤、白、緑、黄の曳光と共に機関銃を雨あられと

この付近は、現在カロリニアン族の集落になつていて、平屋作りの家が椰子の

この付近は、現在カロリニアン族の集落になつていて、平屋作りの家が椰子の

不思議な4時の月

田村豊幸

平成22年8月25日〜26日夜のこと。
幅1メートル強・縦2メートル、細い針金の網目の入った強化ガラス越しに、フト月の光の卵の黄味を感じたのは、25日の時刻不明の夜中の事だった。

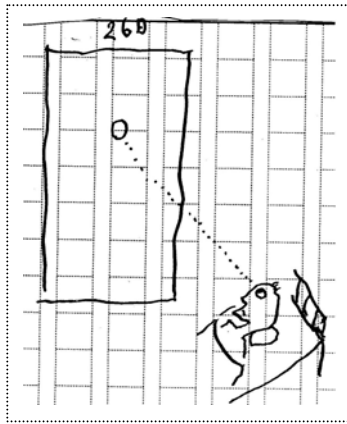
窓はそこだけである。私の腕時計の夜光では時刻が読めなかった。多分30年以上昔、池袋の西武デパートで、夜光の部分が気に入って買ったALBAで、丁度一万円のもので、腕に巻く部分は革でなく国防色の厚い布で肌によくなじんでくれた。

二本の針が3時頃を示していることは、暗い303号室でも勘でわかった。

月は窓の上1/3あたりの中央にあった。どのくらいで、窓を横断するのかわからなかった。目標は窓枠だけなので、月の動きはわからないが、かすかに針金

の網目のいくつか越え、微速度で動いているのが感じられたが、視力が視力表の上から二つ目までしか見えない目のことだからアテにはならない。

月が鏡であつたなら……という歌を思い出した。富士が鏡であつたなら……と



いう文章を考え出して、日本平の姫に手紙を出した50年くらい昔の事を考えて

いた。富士山はB29が日本へ来る時に最適の目標に使っていた山でもあるが、私の郷土の真岡からも、冬の夕方などには、大きなお寺の本堂の屋根を思わせる形で

見えるので、好きな山でもある。

月から富士さんへ、富士からお寺へと考えは流れる。いつの間にか翌日になっていた。

ゆうべは月が窓を横切るのに何時間かかるか、不明のままに月は真横に流れて窓枠に隠れてしまった。

別に今晩こそと思つたわけではないのに、月が磨度の窓の中へ入ったところで目が覚めたのも、父がつけてくれた良い名前のおかげかと思つたのは26日のことである。

それにしても何時なのか、知りたかった。持っていた携帯電話の電源を入れると、小さい枠の中にあかりがつくことを気がつき、それを腕時計の文字に近づけてみると、3時40分であった。

月あかりは真岡に住んでいるころ、母が廊下に出した大きな白い花瓶に、秋の七草のほかに、庭の栗や柿の小枝をさして、十五夜の祭りをした昔の空を思い出していた。あの頃は好きな人だけが、ま

わりにいた。母がさしたあの栗の木は途中から二股に分かれ、年中のぼって遊んだものだった。上へ行くと、黒いコールトールを塗った塀を越して隣の栄次郎カジ屋の石灯籠や庭木のある屋敷が見え、その向こうに焼芋屋、明石屋のテイちゃんの家がありずつとろろに海潮寺の森があった。

海潮寺の庭には、私の家にあつた数本がまとまって生えている見上げるような立派な榎の樹が池の西にあつたものを、父が根本まさくにとという町会議員仲間の僧にあげてしまったものがあるはずである。いまごろは天然記念物かもしれない。

私の家の庭には祖父がつくつたらしい大きな池があり、松の木の枝が水面を被い、鯉や金魚が泳いでいたが、池があるのは縁起が悪いという人の話を真に受けてつぶしてしまった。私が大人だったら大反対するところだったのに。子供だったから、どうにも仕方なかった。池をつぶしてからの方が、良くないことが続

いたような気がしている。あの池があれば、松の樹の間をかすめる月が、見られらるうにと思う。

いろいろ考えているうちに、窓の中央へ向かつて降下して、4時丁度について隠れてしまった。

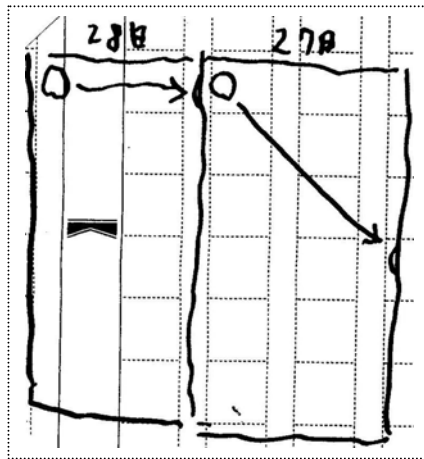
栃木県人会の先輩の稲葉先生というかたが、或る年の県人会で、どうしたとか酒も飲めないでボケつとしている私の所へ来て、急に「田村サーン昔の彼女には会うもんじゃありませんよネ」と言ったのは今もありありと思ひ出す。

先生は少し酔つ払つていて、素直に話を聞いてくれそうな私を発見したので、妙に話したくなつて教えてくれたのかも。小学校の先生のと苦勞して医の路へ入ったかたと聞いていたから、

私はいつべんに尊敬してしまった。

そういえば、50年昔の日本平の姫はどうしているであろうか。「稲葉先生、モノ

には例外ということがありますか、どうでシヨ？」とききたいが、先生はもういない。4時の月のように。



ここで話が終わるはずなのに、27日の4時にまた気がつくと、月が出ていた。すると窓のいちばん上で枠近くを、真直ぐ右へ右へと

進んでいて、ゆうべは右下へ行つたのに、どうしたことかと思つた。

不思議なことが稀にあるのが、月の流れかもしれない。私のボケ始めかもしれない。

青ひげ、赤ひげ、何のひげ

渡辺 玲子

欧米の文学で「青ひげ」というと、まずは六人の奥さんとか幼児を殺した、汚名高い異常性格の貴族を思い出す。

それはシャルル・ペローの童話の題名であり、主人公の名前でもあった。グリム童話の初版にも載っていたが、教育上の観点から、第二版以後は削除されたと

こんにちは・ひとこと

小林 信や

数年前に外科医から障害医療にシフトしました。病棟には歌や音楽が流れ、患者さんの作品が展示されています。障害者の彼らから「絵はだれでも描ける」ことを学びました。

(重症心身障害医療)

いう。

このモデルは、ジャンヌ・ダルクの戦友であるジル・ド・レイだと言われ、歌劇にもなって喧伝されてきた。

寺山修二氏の『青ひげ公の城』は、第七夫人になる予定の少女が青ひげ公を探して城中をうろつく戯曲で、昭和五十四年十月に渋谷西武劇場で初演された傑作である。

芝居で「青ひげ」というと、揉上から顎に青黛を塗って刺った跡を示す化粧法だが、敵役などに使われることが多いから、あまり印象の良いものではないようだ……。

しかし、去る三月上旬、新宿の紀伊国屋サザンシアターで観た、劇団青年劇場の『青ひげ先生の聴診器』（大屋寿朗製作）に出てくるのは、よい「青ひげ」だった。

この先生、青い髻を生やしているのではなく、髻剃りのあとが青々としているところから付けられた仇名なのだ。ちな

みに、青ひげ先生役の葛西和雄は、平成十八年十一月に梶山季之原作の『族譜』を同劇団が同所で公演した際は、故なき拷問を受けながらも節を曲げぬセブラス医大インターン生を演じていたが、今回は熟年の医師である。

その彼が、閉院寸前のある地方病院に赴任したのは、医療の危機が叫ばれだして間もない頃だった。彼は人情に厚く、「出前診療」こと往診にも積極的なのでかけるので、住人の信頼も厚い。それだけでなく、優秀な外科医だった彼の友人が医療ミスで訴えられ、挫折感に苛まれたとき会いたくなつたのも、青ひげ先生だったし、医師を志す息子も進路に迷ってやってきた。

いろんな挿話を入れ、多くの問題に直面しながらも、この病院は再建への道を歩みだすのだ。医療崩壊が叫ばれている現在、示唆される点が多かつたのである。

ところで、こうした良医との最初の出

会いは、山本周五郎の五十五歳の作品『赤ひげ診療譚』であった。

のちに黒沢明監督、三船敏郎・加山雄三の出演で映画化されているし、お読みになった方も多いだろうが、はじめ『オール読物』の昭和三十三年三月号から十二月号まで連載され、八つの短篇から成っている。

これらに関し、昭和三十九年の新潮文庫版の解説で中田耕二が触れているように、各短篇は別々に読むこともできるが、連続した物語にもなっている。いろいろなべ、オムニバス長篇のようなものだ。

すなわち、長崎で修業した若い医師・保本登は、小石川療養所の医長・新出去定に呼ばれて医員見習いにされたが、面白くない。保本は、幕府の御番医から典薬頭へと出世を夢見ていたから、貧民相手の療養所の生活に、ひどい挫折感を味わう。

赤ひげの仇名を持つ新出は、言葉は乱暴で治療も手荒いが、個体の生命力に畏

敬の念を感じており、厳しい現実から目をそらさず、医師としての勤めを果たす。その彼の下で働く森半太夫、津川玄三たち医員の生きざまも交え、保本が医の道に目覚めてゆき、終には小石川療養所に残ることを決意するのである。ここに読者の共感が起こるに違いない。

それ以来、私は、儲けを度外視した気骨のある医師を、ひそかに「赤ひげ」と呼んでいたのだが、そこへ今回の「青ひげ」である。

碩学・澁澤龍彦が旧『宝石』に連載した『ジル・ド・レエ侯の肖像』によると、ジルは赤ひげを生やしていたが、それを悪魔が青ひげに変えたのだそうだ。光線の加減で青く光った、という説もあるから、ひげの色などは、どちらでもよいのかも知れない。

顎髭にしる口鬚にしる、人類の「ひげ」は退化期に入っており、マルクスに比べるとスターリンもやや劣るし、ゴルバチ

ョフやプーチンはなおさらである。アメリカでも日本でも、同じようなものだろう。

ともあれ以前は、気骨のあるお医者さんが多く存在していたように思う。

言葉は荒くても、誠意のある青ひげ先生や赤ひげ先生に、是非、生き続けて頂きたいのである。

春の遊・湯・花巡り

浜名 新

2月ともなれば春の到来が待ち遠しくなる。「梅は咲いたが桜はまだかいな……」春の象徴は「桜」。温暖化現象で、早咲きの梅の花、桜の花の開花は、今年は遅れ、1月下旬から2月には咲き始めるようだ。このたび2月の稲取、3月の松田・湯河原・熱海など遊・湯・花めぐりをする機会があった。

2月初旬バス直行便で、伊藤園ホテルグループの「ホテル稲取」へ1泊2日の

旅行をした。伊藤園グループの「ウリ」は、都心、新宿（上野など）から直行便でホテルの玄関まで送り迎えしてくれること（往復、2000円位）、値段は1泊2日で7800円と割安で、3人以上の場合1000円割引、お酒呑み放題が人気のようだ。

往路は晴れ。新宿8時定刻に出発。トイレ休憩と称して、お土産やドライブインへ立ち寄る回数が多いのは、老人客が多いためか？ 熱海の市街地には紅色の鮮やかな「熱海桜」が満開で、街道筋には梅の花も咲いていた。5時間半かかり到着した。

ホテル稲取は高台にあり、リニューアルされ、海と市街地の眺めはよかった。近くの「ドンツク神社」には、中央に立派な男性のシンボルがご神体として祀られ、「子孫繁栄・夫婦和合・無病息災」がかなうといわれ、「ドン」と参拝した。「河津桜」は2分咲きとか、ホワイトタイガーのいる動物園のいずれの見学もパス。

送迎つきのミカン園の車でみかん狩り。1人500円、イヨカンとサンポーカンを食べ放題。みかんの外の厚い皮を切り、フクの硬い部分のみを切る優れたものを売っていた。

母屋には豪華なひな壇とつるし雛が部屋一杯に飾られていた。ご当地はつるし雛が有名。温泉は源泉かけ流しで、やや熱めの浴槽に入ると浴槽から湯がこぼれ出る。温泉の醍醐味である。循環式では味気ない。露天風呂から海とホテル群を見渡せた。

待ちに待った夕食はバイキング形式で30品が並ぶ。マグロとイカサシの小ささに度肝を抜かれた——地の魚が豊富なご当地にしては残念至極。遠慮なく、ビール、熱燗で沢山のおかずを肴にいい気分しめに軽く一膳。朝食もバイキング形式で20品。夜半からの雨、みぞれ、雪で外に出られない。帰りは下田からのバスで5時間要して新宿へ、無事故でなによりでした。

3月3日・4日小田急で新松田・小田原経由、湯河原（1泊）し、翌日熱海まで行き、「湯・遊バス」で市内観光。熱海は坂の多い温泉町で、見所も多く再認識した。

小田急電車の車中から北側に遠望される松田山の南斜面に、銀色の建物と、早咲きの「河津桜」が紅色に染めていた。新松田駅で下車。J御殿場線の松田駅北口まで商店街を歩き、シャトルバス（150円）で10分くらい、終点の頂上へ。早咲き桜は満開でメジロは集団でさえずり、蜜をついばんで、次から次へ移動している。運がいいと、足柄山の右手に冠雪した白い秀麗富士山が望まれるそうだが、あいにく、雲で半分さえぎられてしまった。

桜が植わった山の斜面の遊歩道に、下の登山道入り口から、人の帯が上へ上へと流れ、デジカメ片手に忙しい。なんと、今年は2月5日から3月13日まで「まつだ桜まつり」が催されていた。西平畑公

園には、つるし雛が飾られた「こどもの館」、少し離れて「ハーブ館」がある。この地は神奈川県松田町西平畑公園で、園内の松田山ハーブガーデン脇に、平成9年、早咲きの「河津桜」200本が植えられ、最近60本を追加植樹。樹木は若く、見事な咲きぶりで、町おこしの最大の功労者かもしれない。今後を期待したい。

こんにちは・ひとこと

なかの よしひろ
中野義宏

白矢先生から紹介を頂きました。携帯カメラくらいしか持っていない、全くの素人ですが、宜しくお願いします。

(産婦人科)

昨年から関所を設け200円の観梅料。梅は6分咲きか。梅の種類は多く名札が掛けられ、ロッククライミングの場所は立ち入り禁止の立て札が。中高年のハイカーの姿が多い。時雨れてきて早々に湯河原駅へ。

宿の車で「杉菜」へ、チェックイン。杉並在住の証明書を提出。千歳川のせせらぎの音が心地よい。男湯は小浴場。女性客が多いのであろう。早速温泉へ。源泉かけ流しで、やや熱め。露天風呂も併設され、浴槽から湯がこぼれ出ている。椅子とテーブルの夕食の膳には、さきつけ、刺身、焼き魚、陶板焼き、煮物、椀物などなど豪華。生ビールが美味い。

翌日は晴天。JRで熱海へ。駅前に「足湯」が設けられている。市営の1日800円乗り降り自由の「湯・遊バス」で「錦ヶ浦・梅園方面」コースへ。「熱海城」、「起雲閣」来の宮神社の3ヶ所を見学。熱海城はエレベーター付きで、常設の展示ものあり。ここからの眺めすばらしく、

日本の三大夜景でしょう。

市営管理の「起雲閣」を見学、3000坪の庭園と宿泊用の建物は見事でした。山本有三・志賀直哉・谷崎潤一郎のスリーショットの写真が飾られていた。太宰治、三島由紀夫、船橋聖一、そうそうたる作家がここに逗留し名作品を書き上げた。大磯、旧吉田茂邸が21年3月不審火で全焼。起雲閣は是非後世に残していただきたい。来の宮神社の大楠は樹齢何百年もへた巨樹で健在である。駅に向かう「湯・遊バス」に乗ると、「MOA美術館・伊豆山神社」のコースになりますといわれ、景色を眺めたく一周することにしました。

70歳代の男性ガイド氏は一味違うキヤラの持ち主で、伊豆山神社で源頼朝・北条正子の逢いびきの話、マリリンモンローが川名ホテルに泊まった日に仲間と会いに行き後ろ姿を拝んだ話、マリリンモンローからケネディ大統領に誕生祝として送られた「金時計・ラブレター」(大

統領が受け取らなかったので秘書が隠しもっていた)が、最近オークションにかけられた秘話などを、資料片手にとつとつと語っていた。

少読多考／先祖のお陰

池田 寿雄

〈参考文献〉

進化しすぎた脳、中高生と語る『大脳生理学』の最前線、池谷裕一(講談社、2007年1月20日第1刷発行、2007年1月31日第2刷発行、1000円(税別))

pp.313 その代わり人類は何をやっているかという点、自分自身の「体」ではなくて「環境」を進化させているんだ。従来は、環境が変化したら、環境に合わせて動物自体が変わってきた。でも今の人間は遺伝的な進化を止めて、逆に環境を支配して、それを自分に合わせて変えている。

1. 読書の方法を少し変えなくてはと考えた。そこで、昨夜は上の文章を読んだ後、本を閉じて、考え始めた。少し読んでたくさん考える。「少読多考」だ。それを試みた。本を読むだけなら誰でもできる。でも、考えるのは自分が一人、誰も真似ができないだろう。

2. 『環境を変える』なかなか良いアイデアだ。自分は書齋にいる。ベッドがすぐ傍に並べてある。今は、それに仰向けに寝て、考えている。

エアコンがきいているから、室内は暖かい。外の気温は現在5度くらいだろう。でも室内は23度くらい。その通り、環境を変えている。

3. 今は夜で暗いが、枕もとのスタンドの光で明るい。その通り。暗い環境を明るくして暮らしている。

4. 木綿のアンダーシャツに、ゴルフ用の紺色のウールの長袖の衣類を着ている。暖かい。その通り。寒くない服装で

環境をさらに快適にして暮らしている。

5. 1月22日の夕方に、自宅からすぐの所にある「十八番」という中華料理に行つて、天津飯(てんしんはん)と、餃子(ぎょうざ)を食べ、アサヒビール1瓶(500cc)を飲んだ。その通り。空腹どころか満腹の状態で今は寝ている。

6. 私は結婚している。妻は67歳。掃除や洗濯や食事の用意は妻がしてくれている。その通り。家庭という環境で暮らしている。

7. 私は診療所「いけだクリニック」を経営している。医療法人「邦寿会」の理事長になって18年になる。和泉市で開業して38年になる。その通り。自分でこの環境を作ったのだ。

8. 和泉市は大阪府にある。大阪府は近畿地方。近畿地方は日本という国にある。治安状態は良い。25年前に盗難事件に3回あったが、大した被害ではなかった。同じ泥棒が、私の家で10万円を盗み、すぐ近くの内科の診療所(和泉市富秋町)

で100万円盗んだ。少し劣等感を感じたくらいだった。その通り。日本という環境で暮らしている。

9. 乗用車は、ペンツである。ドイツ製で3500cc。買ってから4年くらいたった。歩くのは疲れるが、運転したら疲れない。その通り。環境を変化させている。自分は車に乗れば馬より早く走れるのだ。

10. 毎年2度か3度、故郷の伊万里市に帰っている。新幹線か、飛行機を使う。その通り。環境を変化させている。

11. 数日前にチューリップの花の5種類、計25本花屋で買った。店の主人によれば、最近は温室の温度や照明を全部コンピュータに管理させるシステムになっていて、作り損ないが出ないようになっているという。その通り。まさしく、花の生育の環境を人間が作っている。

12. 公共事業によって、道路網、鉄道網、上水道、下水道などが完備されている。その通り。これなども環境を大きく

変化させている。

いろいろ考えれば、時間がたつ。こういう考えのヒントを与える害物は、実は非常に少ない。著者の、池谷裕二氏は天才に違いない。

◇

墓参りに行くと、先祖の墓がたくさん並んでいます。例えば、私の九州の墓地（伊万里市二里町古子）には27個の墓碑が並んで立っています。古いものは250年前のもので、でも先祖は、この数よりもっと、もっと多いのです。

私の両親は2人です。祖父母は4人です。曾祖父母は8人です。100年に3世代が繰り返されて祖先があったと仮定しますと、1000年前は100の10倍ですから、30世代が替わることになります。すると先祖の数は2の30乗と計算できます。対数を利用しますと $\log_2 \times 30 = 9.03$

つまり、1の後ろに0が9個続く巨大

な数字、10億人になります。勿論、近親結婚が一切なかったと仮定しての話ですが、この10億人の先祖に一人でも不妊症の人が混じっていたなら、今日現在、私という人間はこの世に生まれなかったことになります。当然ですが、生まれた子供が成人して、子供が生まれるまで育つたという条件がきます。長い1000年の間には、戦争があり、飢饉があり、食うや食わずの生活もあったことでしょう。

世界の人口は2000年前に約1億人、1000年前に2億人だと推定されています。勿論、この日本ではそれよりずっと少ない人口でした。それにしても、日本人全員が計算上は私一人の先祖の数に匹敵します。

いろいろ考えてみると、殆どゼロに近い確率で、私はこの世に生まれたことになりません。「有難い」と気安く使いますが、本当の意味で「有難い」ことだと思いません。